

2021 年度第 2 回社会・環境部会運営小委員会議事メモ（案） r1

2021 年 8 月 25 日
社会・環境部会 事務局長
山本 隆一

1. 開催日時

2021 年 8 月 25 日（水）10：00～12：10

2. 開催場所

Zoom によるリモート会議

3. 出席者

土田部会長、佐田副部会長、諸葛委員、伊藤委員、寿楽委員、布目委員、
稲村委員、高木委員、小林委員、木藤委員、竹田委員、北田委員、桑垣委
員、山本事務局長

4. 配付資料(21-2-6 は欠番)

21-2-0 議事次第

21-2-1 2021 年度第 1 回社会・環境部会運営小委員会議事メモ案

21-2-2 部会等運営委員会の状況について

21-2-3 全体会議の構成と部会員への周知について

21-2-3-1 社会環境部会運営小委員会委員名簿

21-2-3-2 2021 年度運営体制表

21-2-4-1 21 秋企画セ提案書社環部会

21-2-4-2 21 予稿集 社環部会 4 氏

21-2-5-1 2021 年度予算

21-2-5-2_2021 見込_323_325_社環

21-2-7 部会 HP について

21-2-8 社会・環境部会勉強会の開催状況について

5. 議事概要

部会長遅刻のため佐田副部会長の仕切りにより、議事の順番を一部入れ
替えて進めることとした。

(1) 前回議事メモ確認

山本より 21-2-1 に沿って前回の議事について確認がなされた。なお、前
記の理由によりこの場での確定は避け、各委員が別途再確認した上で、今週
末までに特段の疑義が寄せられなければ確定とすることとした。

(2) 部会等運営委員会の状況について

稲村委員より資料 21-2-2 に沿って紹介があった。その中で、学生連絡会のポスターセッション選考委員については諸葛さんをお願いした旨の紹介があった。

(3) 部会 HP について

木藤委員より 21-2-7 に沿って現状について紹介があった。この中で、関係部会の情報など適宜掲載していることなどが紹介された。また、現時点でアクセスが無い Facebook については管理者の山本より改めて呼びかけをすることとなった。

(4) 部会勉強会について

佐田副部長より 21-2-8 に沿って勉強会での議論について紹介があった。その中で、春の年会に向けてトリチウム水の放出を巡る議論を中心に据えた企画セッションを持つこと、並びに原子力関係のホットイシューについて深掘りする研究専門委員会を部会として設置する方向としたことが確認された。

(5) 2021 年秋の大会について

① 全体会議の構成と部会員への周知について

山本より 21-2-3 に沿って次の全体会議の議事次第案とその周知方法について提案した。また併せて、全体会議で紹介する今年度の運営小委員会の委員名簿 (21-2-3-1) と運営体制 (21-2-3-2) について紹介した。この中で、部会員一斉メールの運用担当として高木委員を明示したことを紹介した。その後、部会長より新委員について全体会議の場で照会することが提案され、了解された。

② 部会企画セッションの構成と役割分担等について

佐田副部長より 21-2-4-1 及び 21-2-4-2 に沿って企画セッションの概要が紹介された。その予稿の中でやや過激と思われる表現が見られたことから当日、部会長が座長として議論の行方に注意することとなった。

(6) 定例報告等

① 2021 年度予算執行状況

高木委員より 21-2-5-1 及び 21-2-5-2 に沿って説明があった。コロナ禍の影響等を考慮した見通しの作成について学会事務局より依頼があり、当初予算約 70 万円に対し約 40 万とする見直し案を作成した。支出想定時期等も 21-2-5-2 には反映されている。この見直し案と、メーリン

グリスト維持のための通信運搬費と秋の大会の企画セッションの講師への諸謝金の支出について承認された。

② マスメディアとの関係構築について

伊藤委員よりにて現況説明があった。その中でメディア側はハイブリッド開催を要望しているとのことであったが、世の流れとしてはリモートが標準になりつつあることでもあり、名刺交換について工夫するなど提案して再度押し戻せないか検討することになった。

③ データ管理ワーキングについて

土田部会長より、現在データベースを貸し出している桑垣委員が秋の大会でこれを基にした口頭発表をすることになっているとの紹介があった。これに対し稲垣委員より、論文化も志向しているとの説明があった。

④ PS について

山本より口頭で PSWG の状況について紹介した上で、この場での議論では部会の PS を主たる話題として行きたいと発言した。これに対し部会長より、当部会の位置づけを考えると、もっと積極的に PS を発信することを考えるべきであり、前回決めたメンバーが中心となって、更には運営小委員会外のメンバーにも参加してもらって、部会として発信すべき PS について検討すべしとの指示があった。これを受け、とりあえず全体会議においてはそのような方向性を提示することとなった。

以上